

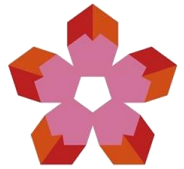
野田元総理 VS 石破新総理



大村知事木曾ボタロードをゆく
byチームひで 稲沢サンフェスタは12日まで

令和6年9月定例愛知県議会

10月11日に閉会した愛知県議会9月定例会では、愛知県基幹的広域防災拠点の第2期や三河地区の一時保護所の整備、児童虐待防止対策の強化、医療機関の新興感染症対策の強化、交通死亡事故抑止、**2024年技能五輪国際大会**の準備推進など一般会計補正予算169億7,431万円のほか、公害審査会委員等の人事案件など全ての議案を可決・同意の予定です。



WorldSkills 2024 to AICHI JAPAN

農林水産委員会質問

イネカメムシ被害について

8月30日に農林水産省が発表した、2024年産米の本年8月15日現在の作柄概況によると、青森県が「良」、東北地方などの11道府県が「やや良」となっているほか、最大産地の新潟県や本県など31道府県が「平年並み」、佐賀、長崎、宮崎の3県は「やや不良」となっている。昨年はイネカメムシが大発生し、地域によってはイネカメムシの被害により収量が大きく減少しているが、今年

Ans: 本年の斑点米カメムシ類の捕獲数は農業試験場の調査では平年捕獲数の2.9倍と過去10年で最多の状況、昨年の大きな被害は出穂期の防除の遅れ等が考えられ、昨年被害が大きかった海部地区で農業改良普及課がJAと協働して啓発資料をJA広報誌に折り込み配布やラジコンヘリによる共同防除などを実施、他の地域にも積極的に情報発信して防除の徹底を図った。

年のイネカメムシの発生状況及び、県としての取組を伺う。また、令和の米騒動と言われた今年の米不足の要因として、昨年の猛暑の影響もあると言われており引き続きカメムシ対策や高温障害対策に取り組むよう要望。



ドローンの活用について

県外調査で、ドローンによるセンシング技術の活用などのほかに、鉄コーティングした種籾をドローンにより1反当たり5分ほどで播種する事例を拝見した。ドローンは農薬や肥料の散布を省力的に行うスマート農業機械であると認識していたが、本県におけるドローンの導入台数や用途等の実態及び、大型ドローンの購入・活用が難しい小規模農家等に対し、県としてドローンの利用推進の取組を伺う。

Ans: 本県の水田作では基幹経営体の41%で導入、水稲種籾のたん水直播は豊川市等で導入に向けて試験を実施し、リモートセンシングの実証も豊田加茂地区等で行われている。ドローンは大規模農家や作業の請負業者による作業受託、共同利用等の方法で産地全体での導入が有効、愛西のレンコン産地ではドローンを活用した共同防除を実施。国の補助金の活用等を支援。

また、持続可能な農業の一助となる評価の高い「不耕起V溝直播栽培」などの生産技術の構築やスマート技術など積極的に取り組むよう要望。



第50回衆議院総選挙 2024.10.27へ

選挙ドットコム 2024によりますと、愛知9区の予想される顔ぶれは、現職の長坂康正氏(67 自民現当選回数4)、岡本充功氏(53 立憲元同5)、伊藤恵子氏(71 共産新)に加え村井貴裕氏(32 参政党新)となっていました(5日時点)。自民党の総裁選の時には予算委員会と言っていた石破新総理が前言を翻し10月15日公示、27日投開票と解散から戦後最短で進められる異例の展開です。

衆議院議員総選挙(小選挙区9区稲沢市)投票率の推移



STEP 21 県政

2024R06



REPORT

あいち民主県議団

すずき純

鈴木じゆん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島10-82
Tel 24-6600 Fax 23-0791 suzukijun@step21.net

2410 "急遽"

■稲沢市議会新議長に吉川隆之氏

議長：**吉川隆之氏**(祖父江4期) 副議長：**服部礼美香氏**(千代田3期)
 議会選出監査委員：**曾我部博隆氏**(祖父江5期)

総務委員会 平野賀洋子委員長 鈴木純子副委員長
 大野紀之 杉山太希 津田敏樹 吉川隆之 六鹿順二
 木全信明* 平野泰弘

文教厚生委員会 岡野次男*委員長 鶴野大助副委員長
 北村太郎 黒田哲生 服部礼美香 志智 央 柧本敏子
 曾我部博隆 山田崇夫

経済建設委員会 近藤治夫委員長 日比野貴子副委員長
 土岐優子 平床健一 木村喜信 星野俊次* 服部俊夫
 小柳彩子

議会運営 津田委員長 志智副委員長

議会改革 星野*委員長 杉山副委員長

広報広聴 平床委員長 服部(俊)副委員長

(敬称略、順不同、太字は市民クラブ所属、*は連合愛知尾張南地協政策推進議員)

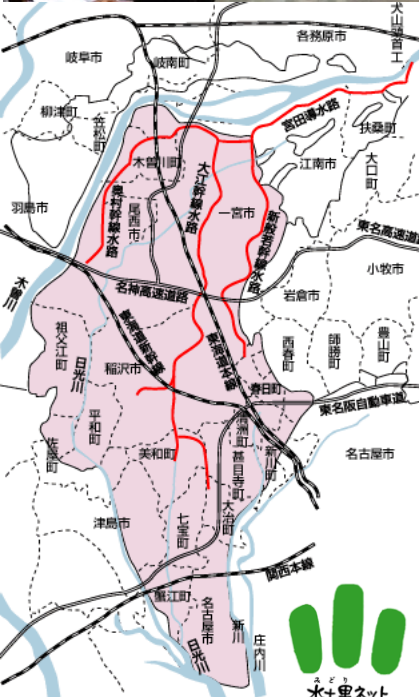
■宮田用水土地改良区理事長に就任

鈴木は宮田用水で副理事長を務めていましたが、改選があり今回は理事の皆さんに推挙頂き勇退された瀬戸理事長の跡を受け理事長に就任しました。

宮田用水は1608年(慶長3年)に木曾川から取水する大野杵を設けたのが始まりで、1952年(S27年)に宮田用水土地改良区へ改組、1962年(S37年)国営事業により造成された犬山頭首工(宮田、木津、羽島の各用水)から取水しています。

受益地区は一宮、清須、北名古屋、稲沢、津島、あま、愛西、名古屋、蟹江、大治の8市2町、受益面積は約5,265ha、組合員数は25,183人、1人当たりの平均耕作面積は約2,000㎡(2反600坪)です。

維持管理施設は、用水路が35路線、総延長330km。分水口が約2,500か所、排水専用の水路となった旧水路30路線、延長170km、揚水機場90か所、立切14か所のほか、中央管理所屋上に太陽光発電設備、導水路部分に小水力発電(関係5改良区で共同管理)があります。今年度の一般会計収支予算は9億4,619万余円、賦課金は1千㎡(約1反)5,240円、農地転用決済金は同33万5千円です。



宮田用水の幹線水路網「濃尾水拾余話」より



野党第1党の立憲

民主の野田党首と政権与党の自民の石破総理とのがっぴり四つの論戦が手のひら返して残念ながら戦後最短の総選挙突入で選管、投票用紙の印刷なども大変のようで…**未来へつづきまづいへ**一生懸命動きます。 愛知県議会議員 **鈴木じゅん**

●2010年野田財務大臣当時の写真です

●稲沢市障害者スポーツレクリエーション大会

稲障連(竹内会長)やボランティア等のご尽力で開催、鈴木は地元県議を代表して“スポーツがつなぐ愛知の未来”とした県のスポーツ推進計画(障がい者のスポーツ参加が2割程度と全国(3割)より少ない)や関係の皆様への競技参加、パラスポーツのアンバサダーなど挨拶しました。



●連合愛知尾張南地協“最賃”

連合愛知尾張南地域協議会(代表:後藤豊田合成労組委員長)の街頭活動で10月1日より**愛知県地域別最低賃金1,077円**(前年度の1,027円から50円UP、金額・引上げ額とも過去最大)の広報で、組合の皆さんや政策推進議員の木全、星野、岡野の稲沢市議らと参加しました。



●宮田用水土地改良区就任挨拶

宮田用水土地改良区就任の挨拶に濃尾用水地区用排水対策協議会等の会長も兼務されている中野一宮市長をはじめ、農林水産省東海農政局新濃尾農地防災事業所川中所長や村上あま市長、穂積木津用水理事長、高橋羽島用水理事長など訪問させて頂きました。



●ユーロヴェロに憧れて

ヨーロッパの自転車ルートユーロヴェロの番組に感化されて購入した自転車で市役所へ初乗り、走っている時は風を切って快適でしたが自転車置き場に停める時から汗が吹き出して議会の控室で氷入りのお茶を頂き、なんとか岡野市議の一般質問を傍聴しました。

